

資料3 「陸養プロジェクト」(いみずサクラマスの陸上養殖)を 堀岡小学校、放生津小学校で実施します

子どもたちが自ら育て、考え、行動することで生き物の命の大切さを学びます。「陸上養殖」を通して水産資源の貴重さや自分たちが住む地域の海の問題について知り、成長していくことを目的として実施します。

1 陸養プロジェクトとは

- ・小学校で、海水魚を飼育する「陸上養殖」を実施します。魚の成長過程やその成長過程における自分の気持ちの変化を記録として残していき、自分たちが食べている魚や海の問題についてみんなで考えます。
- ・イベント実施の対象となる小学生に向けた地元専門家による座学を実施します。
- ・地元漁業の現状や陸上養殖の取組について学びます。また養殖現場などの見学も行い、水産業の現状を学びます。

「日本財団 海と日本プロジェクト」が富山県射水市を含む全国の5地域
(青森県青森市、愛媛県西予市、長崎県長崎市、東京都渋谷区)で実施

2 プロジェクト実施校

射水市立堀岡小学校5年生 25名 (射水市海竜町118-2)

射水市立放生津小学校5年生 26名 (射水市中新湊23-10)

3 養殖魚種

サクラマス

4 開催スケジュール

平成30年9月下旬～ プロジェクトキックオフ(水槽設置、サクラマス受け入れなど)

10月上旬～ 生育スタート(糞や残餌取りの掃除、給餌、人口海水の換水などを子供たちが行う。観察ノートの記録)

11月～1月 座学の実施(海の生命・環境問題・地域と海の関わりについて授業を行う。(2回程度))

12月 中間発表(現状や魚について調べた事を発表)

平成31年2月 最終議論(育てた魚をどうするのか【食べる or 放流する or 継続して育てる等】を児童で議論し結論を出す「いのちの授業」の実施)

5 プロジェクト実施体制

主催 陸養プロジェクト富山実行委員会
(射水市、射水市教育委員会、北日本新聞社)

共催 日本財団 海と日本プロジェクト

監修 NPO日本養殖振興会